

藤代高校だより 冬号

住所等

取手市毛有 6 4 0
Tel. 0297-82-6283入学試験本番まで
あと少しです。受験生は
体調管理を万全にしよう

十二月一日(金)

紙面から

- 1 学校説明会を実施
- 2 取手市の未来は？
1年生の主権者教育
- 3 沖縄修学旅行の報告
- 4 体育祭開催
部活動紹介



秋の授業公開を実施しました！

10月28日(土)、秋の授業公開を実施しました。本公開は主に近隣の中学3年生及び保護者を対象に行い、約360名の皆様の来場をいただきました。

教職員一同、大変喜ばしく、身の引き締まる思いをしました。

本公開のアンケートの回答でいただいた、多くのご意見やご感想を、今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。



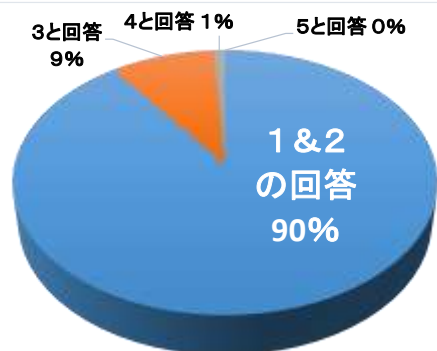
藤代高校は授業改善の推進、エフェクティブクラスの取組等に一層力を入れていきます。

アンケート結果より

生徒たちにとって充実した授業であると思ひましたか？

以下の回答方法で実施

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 そう思った | 2 少し思った |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり思わなかった |
| 5 思わなかった | |



「充実した授業である」⇒90%

(内訳 思う 57% 少し思う 33%)と、肯定的な回答の割合はとても高いものでした。教職員一同、嬉しく思ひます。尚一層授業改善に取り組み、信頼される学校になるよう努力を続けます。

数多く寄せられたご感想を紹介します

●→授業等の感想 ●→藤代高や生徒たちのイメージ

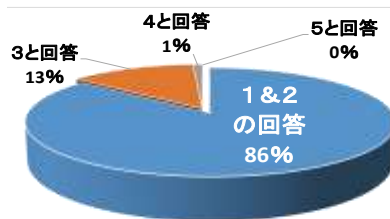
中学生の皆さんの声

●インタラクティブフォーラム実演では英語力が高く驚いた ●「道徳」ではグループでの話し合いがよくできていた ●学校説明では中学校との違いが分かった ●主権者教育の参観は選挙について考えるきっかけになった ●真面目、授業や行事に熱心に取り組む ●充実した高校生活が送れる ●いじめがなく生徒たちの仲が良さそう ●部活動がさかんで野球部が強い

中学生の保護者の皆様の声

●インタラクティブフォーラムの発表を聞き魅力的な学校と思った ●「道徳」のテーマが面白く熱心に取り組んでいた ●学校説明ではエフェクティブクラスについてよく分かった ●授業態度がとても良い ●とても生徒達のことを思っている学校だ ●生徒たちは明るく、感じが良い ●活発で挨拶の習慣ができている ●入学したら、全員が安心して卒業できる学校である ●現在まで培われてきた校風が良い

本校で学びたい(学ばせたい)と思ひましたか？



主権者教育については次頁で紹介しします

藤代高の 1 年生が考える我が街(取手)活性化計画 ～(公社)日本青年会議所と連携した主権者教育～

RESAS(内閣府主体による産業構造や人口動態などのビッグデータ)を基に日本青年会議所の方々より、地域についての講義を受け、その後、取手市の課題を各クラスで小グループに分かれて話し合い政策にまとめました。授業の最後に模擬投票を行い、**(私たちのクラスの)取手市長を選出**しました。

1 組の市長 5 班代表

西田 璃音君(取手・戸頭中出身)

政策

「取手市に大型ショッピングモールを！」

理由及び具体策

- ・取手市内に大型ショッピングモールを作る。若者の人口減が著しいので、最新のショッピングモールが良いだろう。一方、老人や身障者にも優しいバリアフリー対応のショップを増やすことも不可欠だ。



3 組の市長 2 班代表

大津 俊一君(千葉・我孫子中出身)

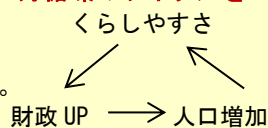
政策

「財政難から脱出」～街に好循環のサイクルを～

理由及び具体策

- ・以下 3 点を重点課題として好循環のサイクルを確立する。

- ①大企業の誘致
- ②ショッピングモール建設
- ③道路や信号を整備



5 組の市長 2 班代表

太田 翔君(取手・藤代南中出身)

政策

「田んぼアートを創造し 周辺の発展を図る」

理由及び具体策

- ・取手市には田んぼが多い。それを利用し、田んぼアートという、創造性溢れる観光地を創造する。伴い観光客増を狙う。そして商業施設や宿泊施設を建設し、街の活性化や人口増といった、取手市の好循環を図る。



2 組の市長 3 班代表

濱田 悠陽君(龍ヶ崎・中根台中出身)

政策

「街の若者減少傾向に歯止めを」～①大企業誘致 ②マンション建設 ③ショッピングモール建設～

理由及び具体策

- ・市の若者減少の理由は、働く場所が少なく、ショッピングモール等が少ないと考えた。よって、大企業を誘致し、周辺にマンションやショッピングモールも建設することで、若者を呼び込む。それにより、次世代が生まれ、今後に繋がるのではないかと。



4 組の市長 1 班代表

糸賀 昂大君(取手・取手一中出身)

政策

「TDLに匹敵するテーマパーク建設を！」

理由及び具体策

- ・取手市にはゴルフ場など成人向きの娯楽施設は多いが、児童生徒や学生向きの娯楽施設は少ない。衆目を集めるテーマパークを作ること、メディアも活用し知名度 UP を狙い活性化を図る。



6 組の市長 6 班代表

渡邊 怜央君(取手・取手二中出身)

政策

「取手に来る人を増やすぞ！」～土地有効活用～

理由及び具体策

- ①旧取手一中の敷地に大型商業施設を建設する。
- ②取手市は田んぼが多い。宅地増加を狙うより、観光地や外出先の用途を推進したほうが良い。
- ③卸売業が多いのも取手市の特徴なので、店舗をもっと増やすことで街は潤うと考える。

2 年生修学旅行 思い出つまった沖縄での 3 泊 4 日！



11 月 4 日(土)～7 日(火)、2 年生生徒は 3 泊 4 日の沖縄修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、南国の日差しと透き通った海のもと、実り多き旅行となりました。その様子の一部を紹介します。



平和学習



11 月 4 日(土)

平和学習は、沖縄戦の歴史を悲惨で残酷なものと考えただけでなく、平和の尊さや命の大切さを前向きに捉える機会になりました。

●ひめゆりの塔

沖縄戦末期に沖縄陸軍病院第三外科が置かれたガマ（洞窟）。女子生徒が看護要員として負傷兵の手当をしながらも戦火に巻き込まれ、命を落としました。本校の生徒たちは献花を行い、祈りを込めて作った藤色（ふじ）と白色（しろ）の千羽鶴を奉納しました。



●アブチラガマ(糸数壕)

戦時中、実際に使用していたガマ（洞窟）にガイドさんと一緒に歩いて入りました。懐中電灯を消したときの漆黒の間は、生徒にとって大きな衝撃でした。



●平和祈念公園・資料館

生徒たちは広大な敷地の中、「平和の礎」や「茨城の塔」を巡り、平和への考えを深めました。『命どう宝』・・・命こそ最高の宝である。



タクシー研修



11 月 5 日(日)

生徒 3～4 名で分かれてタクシーに乗り、沖縄本島を巡りました。史跡や自然、観光地など各班のテーマをもとに、自由にスケジュールを組みました。



マリンスポーツ体験

11 月 6 日(月)

亜熱帯の温暖な気候とエメラルドグリーンの澄みきった海、常緑の森…。生徒たちは自分が体験したい種目、マリンスポーツ体験（シュノーケリング・バナナボート）、カヌー体験（マングローブ自然観察）、ドルフィン体験（イルカとの触れ合い）等を選択し、沖縄の大自然を全身で感じながらマリンスポーツを満喫しました。



美ら海水族館



11 月 6 日(月)

沖縄の象徴的な観光スポットである「美ら海（ちゅらうみ）水族館」。

ジンベエザメやマンタなど、多種多様な生物を間近で見ることができました。



『明るく仲良く元気よく！』 伝統の体育祭を開催



10月27日(金)。秋晴れの下、伝統の体育祭を開催。1組団から6組団まで団ごとに、生徒たちは鮮やかなはちまきを身に着け参加します。

種目は本校伝統の借り物競争、男女混合二人三脚、棒引き、学年別対抗リレー、部活対抗リレー、男子騎馬戦、女子風船割り、綱引き、団対抗リレー競技等々。最後は生徒全員によるフォークダンスでした。



今年度は大接戦の末、1組緑団が優勝！どの競技も手に汗握る熱戦でした。生徒の応援と歓声がグラウンドに響きわたりました。



題名『おかえり』

1年 坂本 夢奈さん
取手市立永山中学校出身



朗報
写真部の生徒
作品が
関東地区展覧会に出品！



活発な部活動



今回は陸上部とバスケットボール部を紹介します



私たち陸上競技部は、男子11名、女子10名の計21名で顧問の小田先生の指導のもと、全員が県大会出場を目標に毎日活動しています。

「継続は力なり」をモットーに毎日の積み重ねを大切に、勉強にも部活動にも全力で取り組んでいます。練習中は部員一人一人が集中し、今何をすべきか考え、限られた時間の中で1秒でも速く走れるように努力しています。高校から陸上を始めた選手も多数いますが、着実に力をつけ、更なる高い目標に向かって全員で力を合わせて頑張っています。興味のある方は是非見学に来てください。

綿引 健太君(2年)
(取手市立藤代南中学出身)



バスケットボール部は、男子18人、女子13人、マネージャー4人の計35人で男子は地区大会優勝・県ベスト8、女子は県大会出場を目標に顧問の先生の指導のもと、基礎練習を怠らず、部員同士切磋琢磨しながら、日々妥協せず、全力で練習に取り組んでいます。また、「良き選手の前に良き藤高生であれ」をモットーに、文武両道を目指し、選手としてだけでなく人としても大きく成長できるように感謝の気持ちを忘れず、部活動以外の面も高い意識を持ってやっています。興味のある方はぜひ見学に来て下さい。



銭谷 一光君(2年)
(取手市立藤代中学出身)
稲井 七海さん(2年)
(つくば市立谷田部東中学出身)